

ニホンテン

(2005年1月28日 午後10時ごろ 泉岳少年自然の家)

あざやかな^{きいろ}黄色の毛。冬にこのよう^{けいろ}な毛色になったテンを「キテン」といいます。写真は、^{しゃしん} 泉岳少年自然の家の^{いそみだけしょうねんしぜん} 野外炊事場^{いそ}に来た^{せんちめーとる} ときのものです。大きさは40 c m くらい。ネズミやリスのほ^{かじつ}か、果実^たなどを^{かしこ}食べます。とても賢く^{びんかん} 敏感で、写真^{しゃしん}では^{ゆき} 雪が1 m ほど^{めーとる} 積も^つっている^{した} 下でネズミが^{うご} 動いているか^{けはい} ずかな^{かん} 気配^{はなさき}を感じ^{せつめん}て、鼻先^{ようす}を雪面^{ようす}につけて^{ようす} 様子^{ようす}をうかが^{ようす}っている^{ようす} ところです。



足跡。足の裏まで毛が生えていて、足音が立ちにくく、また、雪でもすべりにくくなっています。



果実や鳥のヒナを食べるために、木にもツメを使って上手に登ります。